

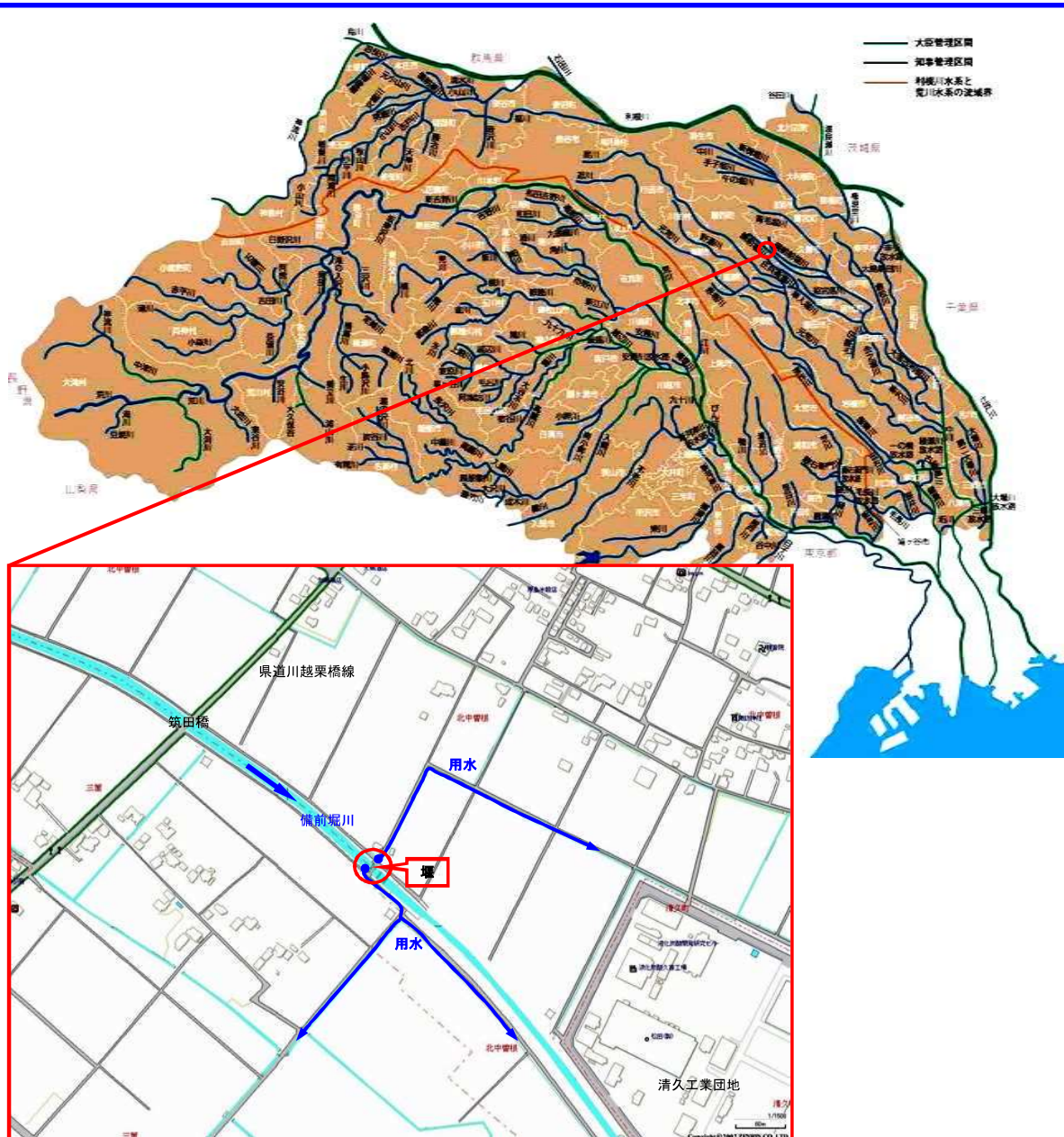
【 古 筈 田 堰 】

管 理 者	古筈田堰梓土地改良区	受益地域	久喜市・菖蒲町
-------	------------	------	---------

用 水 の 変 遷

用水の始まりは不明であるが、堰の築造は明治4年である。県営用排水幹線改良事業大落古利根川地区(T8～S11)により本堰を撤廃し、替わりに会の川、騎西領用水からの用水補給が計画されていたが、地元の強固な反対により堰は現存することとなった。堰名の「筈田(ザルタ)」とは、“水持ちの悪い水田”という意味であり、堰上流には古筈田落排水路がある。そのため、本堰によりかんがい用の取水は勿論、堰上げを行い常に水位を確保しながら周辺耕地の地下水位を確保する役割もあると見られる。堰体はレンガ造りで県内最大規模と言われており、ゲートについては、県営干拓等農地整備事業水深地区(S56～H5)により改修され現在に至る。

用 水 位 置 図



用水施設写真

下流より堰を望む



久喜市北中曽根地先

上流より堰を望む



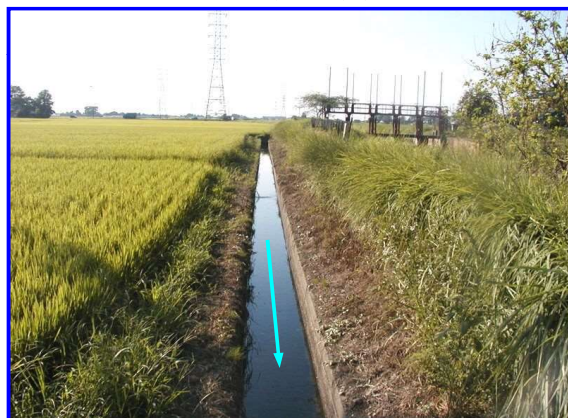
久喜市北中曽根地先

取水口（右岸側）



久喜市北中曽根地先

用水（右岸側）



久喜市北中曽根地先

取水口（左岸側）



久喜市北中曽根地先

用水（左岸側）



久喜市北中曽根地先